

2017 年度事業報告

2018 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

目 次

1. 環境エンリッチメント推進事業

- エンリッチメント大賞
- エンリッチメントに係るコンサルティング
- エンリッチメントに係る調査研究、情報提供
- エンリッチメント大賞 2017 表彰式・受賞者講演会

2. 動物園等に関する調査研究事業

- 動物園等に関する調査・研究
- 動物園等に係る各種協力・助言
- 各種団体との連携

3. 動物園等に関する普及啓発事業

- セミナー、勉強会、ワークショップ
- 情報発信
- 講演

4. 人材育成事業

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第16回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2017年5月1日(月)～6月30日(金)
- ・応募結果：応募総数50通(35件の取り組みに対し)
- ・審査方法：下記5名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催(9月10日(日))して二次審査をおこない受賞者を決定した。審査結果は、10月2日(月)に公表した。受賞者には受賞盾を授与した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 (いわき明星大学教授)
川端 裕人 氏 (作家)
幸島 司郎 氏 (京都大学野生動物研究センター教授)
佐藤 衆介 氏 (帝京科学大学 教授)
本田 公夫 氏 (Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアーツ部門
スタジオマネージャー) ※五十音順
- ・審査結果：3件
 - ▼大賞：ニホンザルの餌の季節変化とエンリッチメント(東京都恩賜上野動物園)
 - ▼奨励賞：ボルネオゾウの科学的かつ献身的なウェルフェア向上に向けた取り組み(福山市立動物園)
 - ▼奨励賞：サルたちの健康を考えた採食エンリッチメント(宇部市ときわ動物園)

●エンリッチメントに係るコンサルティング

2017年度は特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

2017年度は特に実施しなかった。

●エンリッチメント大賞2017表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞2017表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

- ・日時：2017年12月2日(土) 13:30～17:00
- ・会場：東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区)
- ・主催：NPO法人 市民ZOOネットワーク
エンリッチメント大賞2017表彰式・受賞者講演会 実行委員会
- ・プログラム
 - －開会挨拶：川端裕人氏(作家・エンリッチメント大賞審査委員)
 - －表彰式
 - －審査委員講評：審査委員の先生方より、今年のエンリッチメント大賞に対する講評
 - －基調講演：本田公夫氏(Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアーツ部門 ス

タジオマネージャー・エンリッチメント大賞 2017 審査委員)

ー受賞者記念講演

上野動物園 ニホンザルの餌の季節変化とエンリッチメント

福山市立動物園 ボルネオゾウの科学的かつ献身的なウェルフェア向上に向けた取り組み

宇部市ときわ動物園 サルたちの健康を考えた採食エンリッチメント

・特別企画など

一次審査を通過した取り組みについてのポスター発表、各種団体からのブース出展、来場者参加型の写真展、チャリティ・オークション

・受賞記念パーティー：講演会終了後に同会場で開催

※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約 30 名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

また、佐渡友陽一研究員により、以下のとおり動物園等に関する調査・研究活動がおこなわれた。

- ・2017 年 6 月発行の「三田評論」に、依頼原稿「心の痛みから考える動物園水族館とイルカ入手問題」が掲載された。
- ・2017 年 12 月発行のヒトと動物の関係学会誌「動物観研究 no.22」に、論文「米国のロードサイド ZOO と A Z A 加盟の意義」が掲載された。
- ・2017 年 12 月発行の「博物館研究、第 52 巻第 12 号」に、依頼原稿「日米独の動物園経営に関する国際比較」が掲載された。

●動物園等に係る各種協力・助言

2017 年度は特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、のべ 21 件（団体・個人・その他含む）の広報協力等による連携をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

市民 ZOO ネットワーク主催のセミナーを「クロストーク」として以下のとおり開催した。

1) 市民 ZOO クロストーク 3rd 「動物への配慮とは？ 倫理学の視点から考える」

- ・2017 年 7 月 15 日（土）、地球環境パートナーシッププラザ セミナースペースにて開催
- ・ゲスト：伊勢田 哲治 さん（京都大学 教授）
並木 美砂子 さん（帝京科学大学 教授）

2) 市民 ZOO クロストーク 4th 「アメリカ動物園見聞録 ～ロードサイドからブルックスまで～」

- ・2017年11月7日(火)、地球環境パートナーシッププラザ セミナースペースにて開催
- ・ゲスト：川端裕人さん(作家)

佐渡友陽一さん(帝京科学大学講師、市民 ZOO ネットワーク代表理事)

3) 市民 ZOO クロストーク第5弾 in 大阪「動物園にできること 20年の間に変わったこと」

- ・2018年3月23日(金)、Gallery Cafe *Kirin* (大阪市)にて開催(Kirinとの共催)
- ・ゲスト：川端裕人さん(作家)

綿貫宏史朗さん(市民 ZOO ネットワーク理事)

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを2回(第43号、44号)発行した。
- ・第43号発行(2017年4月)(特集その1:エンリッチメント大賞2016表彰式・受賞者記念講演会開催報告、その2:座談会 市民がつくる動物園水族館の未来)
- ・第44号発行(2017年11月)(特集その1:エンリッチメント大賞2017発表、その2:動物園と動物倫理(京都大学・伊勢田哲治さんの寄稿))
- ・以上を市民 ZOO ネットワーク正会員およびサポーター(正会員19名、サポーター166名、2018年5月31日時点)、全国の主要な動物園・水族館(約170園館)、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月1回配信した
- ・配信数は1058アドレス。(2018年6月1日現在)(前年度(1051)比+7アドレス)
アドレス数内訳 市民 ZOO サーバ:801(前年比+7)、まぐまぐ!:139(前年比-4)、melma!:118(前年比+4)

3) WEBサイト/Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

- ・日本教育新聞 藤木雅巳氏 『週刊教育資料』(No. 1433:2017年5月22日号「動物園を通して人と動物の関係を考える」(上)およびNo. 1434:2017年06月05日号「みんなが幸せになる関係に」(下)掲載)に関する取材(佐渡友対応)
- ・マガジンハウス 西川里枝氏 月刊『カーサ ブルータス』(2017年8月号 特集「センス・オブ・ワンダーに出会える!動物園と水族館。」)に関する取材(佐渡友対応)
- ・集英社 興山英雄氏 「週刊プレイボーイ」に関する取材(佐渡友対応)
- ・朝日新聞 猪野元健氏 朝日小学生新聞(2017年12月5日掲載「上野動物園に「エンリッチメント大賞」 サル飼育のえさの工夫に」)に関する取材(綿貫対応・永井写真提供)
- ・NHK 首都圏放送センター 兒玉章吾氏 地域情報番組「金曜イチから」番組制作のため動物園の最新事情に関する取材(佐渡友対応)
- ・NHK 政策局 田中将吾氏 生活情報番組「あさいち」(2018年4月19日放送、上野に関する特集)に関する取材(永井対応)

5) 著作物等

2017年度は特に実施しなかった。

●講演

2017年度は特に実施しなかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して、適宜情報提供等をおこなった。